

事業群評価調書(平成29年度実施)

基本戦略名	5 次代を担う子どもを育む	事業群主管所属	教育庁学芸文化課
施策名	(4) 我が国と郷土を愛する心や豊かな人間性、社会性の育成	課(室)長名	金子 真二
事業群名	創造性や独創性など豊かな人間性を育てる子どもたちの文化芸術活動の推進	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)</p> <p>子どもたちの文化力の向上とすそ野の拡大を図るため、市町教育委員会や中学校文化連盟、高等学校文化連盟と連携し、中高を通じて文化力を向上させる施策に取り組みます。また、文化芸術の鑑賞や成果発表の機会を提供し、子どもたちの文化活動を推進します。</p>					<p>(取組項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中高対象の研修会の実施や文化部活動への支援</li> <li>小・中・高校生への優れた芸術の鑑賞機会、成果発表機会の提供</li> </ul>					
指 標		最終目標(H32)	目標(H28)	実績(H28)	達成率	<p>(進捗状況の分析)</p> <p>「子ども県展」は、市町教育委員会及び県造形教育研究会と連携し、学習活動の中で制作する作品の発表の機会提供として、県内小・中学校の児童・生徒を対象に作品を募集し、表彰、作品展を実施している。平成28年度には前年度を上回る78,969点の応募があり、過去5年間の児童・生徒数に対する応募率は増加傾向にあることから、児童・生徒の創作活動、美術に対する関心が高まっている。さらに、児童・生徒及び県民への普及啓発のため、長崎市での総合展に加え、離島を含めた県内2カ所(佐世保市、対馬市)で巡回展を行った。</p> <p>&lt; H24:58.7%(70,168/119,500)、H25:61.1%(71,605/117,263)、H26:59.9%(68,837/114,903)、H27:65.9%(74,711/113,438)、H28:70.7%(78,969/111,623) &gt; (応募者数 / 全児童・生徒数)</p>				
事業群	「子ども県展」への応募率	67.0%	64.0%	70.7%	110%					
その他の指標										

2. 28年度取組実績(H29新規・補正は参考記載)

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					28年度事業の成果等	中核事業		
			H28実績	一般財源	人件費(参考)		事業対象	28年度事業の実施状況 (29年度新規・補正は事業内容)	指標	主な目標	H28目標			H28実績	達成率
			H29計画	一般財源	人件費(参考)						H29目標				
取組項目	中学校・高等学校文化活動推進事業費	H18-	25,985	25,985	6,434	中学生、高校生、教員	中学校・高等学校の文化活動の活性化を推進するため、顕著な活躍が期待できる学校を指定し、その活動に対する助成を行うとともに、県総合文化祭及び全国総合文化祭参加への支援等を実施した。	活動指標	文化活動推進校(中学校・高等学校)に指定した学校数(校)	50	50	100%	中学校・高等学校の文化活動推進指定校の文化活動の育成強化への支援や、県総合文化祭開催及び全国総合文化祭参加への支援等により、中学校・高等学校の文化活動の活性化の推進が図られた。		
	学芸文化課		25,301	25,301	8,056			成果指標	九州大会以上で入賞した中学校・高等学校部活動数(部)	50	44	88%			
									48						

取組項目	魅力あふれる児童生徒の作品展開催事業	H18-	2,456	2,456	4,825	小学生、中学生	子どもたちの図工・美術に対する関心を高めるとともに、創造の喜びを味あわせ、豊かな情操を養い、造形活動の活性化を推進するため、県内小・中学校の児童・生徒を対象とする作品募集及び作品展開催を実施した。	活動指標	子ども県展参加校数の割合(%)	100	89	89%	県内小・中学校の児童・生徒を対象とする作品募集及び作品展開催の実施により、子どもたちの図工・美術に対する関心を高めるとともに、造形活動の活性化の推進が図られた。	
			2,618	2,618	5,639			成果指標	子ども県展応募者数(人)	75,000	78,969	105%		
	学芸文化課													
	子ども舞台芸術鑑賞事業	H18-	11,394	11,394	6,434	幼児、小学生、中学生、高校生	子どもたちの豊かな感性や情操を育むための文化活動を推進するため、小・中・特別支援学校の児童・生徒を対象とする音楽・演劇・古典芸能など優れた舞台芸術鑑賞の機会の提供等を実施した。	活動指標	青少年劇場公演数(公演)	28	28	100%		小・中・特別支援学校の児童・生徒を対象とする音楽・演劇・古典芸能など優れた舞台芸術鑑賞の機会の提供等の実施により、子どもたちの豊かな感性や情操を育むための文化活動の推進が図られた。
			11,840	11,840	5,639			成果指標	青少年劇場鑑賞者数(人)	8,081	8,352	103%		
	学芸文化課													
ながさき“若い芽”のコンサート開催費	S62-	2,884	2,884	4,021	小学生、中学生、高校生	子どもたちの豊かな心の育成と青少年活動の活性化の推進のため、クラシック音楽を志す子どもたちの発表の機会提供として、ながさき“若い芽”のコンサート開催を実施した。	活動指標	コンサート開催回数(回)	1	1	100%	クラシック音楽を志す子どもたちの発表の機会提供として、ながさき“若い芽”のコンサート開催の実施により、子どもたちの豊かな心の育成と青少年活動の活性化の推進が図られた。		
		3,267	3,267	7,250			成果指標	オーディション応募者数(人)	142	139	97%			
学芸文化課														

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

#### )中高対象の研修会の実施や文化部活動への支援

中学校・高等学校の文化活動については、全国大会や九州大会において上位入賞など優れた成績を収めており、年々、文化活動の活性化が図られている。子どもたちの豊かな感性や情操を育むため、今後とも、中学校・高等学校の文化活動の活性化を支援するための施策が必要である。

#### )小・中・高校生への優れた芸術の鑑賞機会、成果発表機会の提供

・音楽・演劇・古典芸能など優れた舞台芸術の鑑賞事業は、鑑賞機会の少ない離島・半島地域の学校や特別支援学校を優先して実施している。優れた舞台芸術鑑賞事業は、子どもたちが本物の文化芸術に直接触れることのできる有効な施策であり、子どもたちの豊かな感性や情操を育むため、今後とも、文化芸術の機会提供の施策として必要である。

・「子ども県展」は、県内の小中学校の学習活動の中で制作する図工・美術作品の発表機会として、県内の子どもたちに広く定着し、子どもたちの目標の一つとなっている。「子ども県展」は、今後とも、子どもたちの図工・美術に対する関心を高めるとともに、造形活動の活性化を推進するための施策として必要である。

・「ながさき“若い芽”のコンサート」は、県内の他のコンクールには類がない声楽、ピアノ、弦楽器、ギター、管楽器・打楽器の5部門の構成であり、子どもたちの発表機会として広く定着し、クラシック音楽を志す県内の子どもたちの目標の一つとなっている。子どもたちの豊かな情操を養い、より豊かな人間性を育むため、「ながさき“若い芽”のコンサート」は、今後とも、子どもたちの成果発表の機会提供の施策として必要である。

#### 4. 29年度見直し内容及び30年度実施に向けた方向性

取組項目	事務事業名	29年度事業の実施にあたり見直した内容 (H29の新たな取組は「H29新規」等と記載、見直しがない場合は「-」と記載)	30年度事業の実施に向けた方向性		
			事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目	中学校・高等学校文化活動推進事業費	<p>「文化カステージアップセミナー」(平成26～28年度)の実施により、県中学校文化連盟及び県高等学校文化連盟と連携し、平成30年度全国中学校総合文化祭長崎大会に向けて、中学生及び高校生の学校文化活動のリーダー育成と文化活動の活性化の推進を図ることができた。</p> <p>平成30年度全国中学校総合文化祭長崎大会に向けた活動については、平成28年度に県中学校文化連盟内に大会実行委員会が設置され、また、県高等学校文化連盟においては、平成29年度から、県高等学校文化連盟の各種大会・交流会等に中学生が参加できる仕組みを作り、文化活動の交流の活性化を推進するなど、子どもたちの文化活動の活性化が図られている。</p>		<p>中学校においては、全国中学校総合文化祭長崎大会(平成30年8月)の開催に向け、県中学校文化連盟及び大会実行委員会を中心とする活動をさらに強化していく必要がある。</p> <p>長崎大会においては、本県中学生の日頃の文化活動の成果を全国からの来県者に対し披露するとともに、本県の魅力を全国に発信する契機とするため、市町と連携した広報活動の充実や大会開催への支援等の事業拡充が必要である。</p> <p>高等学校においては、今後とも、市町や学校の枠を越えた文化活動の活性化の推進を図り、また、各種全国大会等において活躍の期待できる文化活動の育成強化を図るとともに、県総合文化祭「しおかぜ祭」開催等への支援等、文化活動のさらなる活性化の推進を図るため、各種事業の推進が必要である。</p>	拡充
取組項目	魅力あふれる児童生徒の作品展開催事業			<p>「子ども県展」は、県内の小中学校の学習活動の中で制作する図工・美術作品の発表機会として、県内の子どもたちに広く定着し、子どもたちの目標の一つとなっており、年々、児童生徒数が減少する中、応募率は増加傾向にある。「子ども県展」は、今後とも、子どもたちの図工・美術に対する関心を高めるとともに、豊かな情操を養い、造形活動のさらなる活性化の推進のための施策として必要である。</p>	現状維持
	子ども舞台芸術鑑賞事業			<p>本物の文化芸術に触れ、子どもたちの豊かな感性や情操を育むため、優れた日本伝統文化の機会提供として、離島の高等学校生徒に対し、「能・狂言」公演を実施している。</p> <p>今後は、「能・狂言」に限らず、他分野の舞台公演も選択できるよう見直しを図ることにより、子どもたちの発達段階に応じた多種多様な舞台芸術を幅広く提供できるよう改善の検討が必要である。</p>	改善
	ながさき“若い芽”のコンサート開催費			<p>「ながさき“若い芽”のコンサート」は、県内の他のコンクールには類がない声楽、ピアノ、弦楽器、ギター、管楽器・打楽器の5部門の構成であり、子どもたちの発表機会として広く定着し、クラシック音楽を志す県内の子どもたちの目標の一つとなっている。子どもたちの豊かな情操を養い、より豊かな人間性を育むため、「ながさき“若い芽”のコンサート」は、今後とも、子どもたちの成果発表の機会提供の施策として必要である。</p>	現状維持